

おとぎげ ヤジロベエ

千葉県

四年 永井 秀弥 さん



優秀賞おめでとうございます。とても面白いプレゼンでした。あのプレゼンは何かを参考にしたのですか。

特にはしていません。みんなが笑ってくれたのでよかったです。

何度も着替えたりして大変そうでしたが、あれはどうして思いついたのですか。笑ってもらおうと思っ

てですか。あれは、場所の説明やカメラなどの性能を説明するのに、あの服の方が分かりやすいかなと思っ



何かをやって、友達に笑われたりするの嫌ではないですか。

いや、嬉しいですね。なので、発表の時もみんなが笑ってくれて満足でした。失敗せずに

終わったらいいと思っただけで、失敗したからこそみんなが笑ってくれたのかもしれないし、それで満足です。

途中で部品が落ちてしまうハプニングがありましたね。あの時はどんな気持ちでしたか。

練習の時からたいてい壊れていたので……。

確かにスタッフさんが手伝ってくれる時にも「大丈夫です」と言って落ち着いていましたね。普段も、失敗とかしても落ち込んだりはしない方ですか。

まあまあ、そうですね。そもそもあまり人前で発表とかするのは好きではなくて。でも、授業とかでも先生が指すから、分からなくても答えなくちゃいけない。だから、失敗しても落ち込んだりはしないです。

なるほど。では、今回、最終審査会に出ることになったと聞いた時はどう思いましたか。

発表したくないなと思いました。あんなに大変なのは……。

兄が二年前に同じように最終審査会に出させてもらって。兄の時はオンラインで、今回とは比じゃないくらいの練習量でした。泣きべそをかいてやっていたので。その時の練習の様子を見ていたので、「俺もやばいな」と思ったようです。(母)

兄弟で最終審査会に出場とはすごいですね。お兄さんからは何かアドバイスとかありましたか。

特にありませんでした。「頑張れ」と言っただぐらいです。

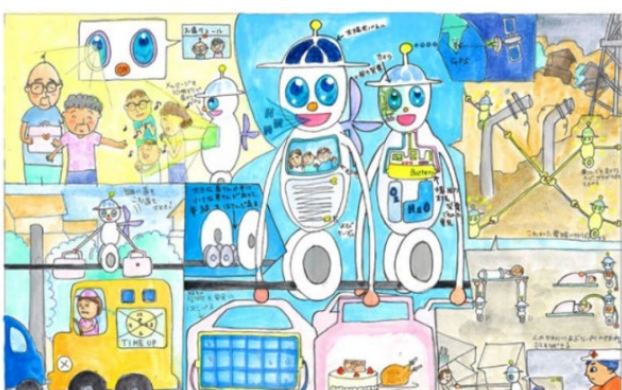
そういえば、このコンテストに応募したきっかけはなんですか。

親からの宿題です。コロナ禍で、なかなか外で遊んだりもできず、家においてゲームばかりになってしまっじゃないですか。だから、「やりなさい」と言いました。(母)

そうなんですね。でも、優秀賞も

受賞したし、来年もこのコンテストに参加したいですか。

いやですね、大変だったので。作品を作るところまでは楽しかったけど、その後からは「面倒くさいな」とか思うようになって。



ちなみに、「アイデアを考える」「絵を描く」「作品を作る」「練習する」「発表する」という五つの過程の中で、一番楽しかったのはどこですか。

「作品を作る」ところですね。こうしたことは初めてだったので大変だったけど。

どこが大変でしたか。

電柱が倒れないようにするために磁石をくつつけたところですよ。ヤジロベエのバランスをとれるようにするのも苦労しました。前に図工の学習で取り外しできる家を作って、その家を立たせるのに磁石を使ったのを利用しました。その時マジックテープも試したけど、うまく立たなかったもので、今回はすぐに磁石を使おうと思いつきました。磁石も百円ショップで探して、普通の磁石と強力磁石を試しました。そしたら、強力がよくて、超強力までは必要ないなって。でも、強力磁石の数が限られていたの、ひたすら試して場所によって使い分けました。

三年生の理科で磁石の学習をしたと思いますが覚えていますか。

たしかやったと思います。二年

くらい前に、強力磁石で自分の指の爪のあたりを挟んで、痛くて取れなかったのを覚えてます。そこで、強力磁石は強いんだなって。普通の磁石では指を挟めなかったの。

なるほど。そうした経験が、しっかりと電柱が立つ仕組みの部分に生かされたのかもしれないね。そういえば、このヤジロベエはおじいさんのためだけではなく、災害現場などでも役立つと言っていました。それはどうして思いついたのですか。

四年前に、台風の影響で友達の家の屋根が飛んじやって。電柱とかも倒れて、電気も止まってしまっ。だから、電気を届けられないかなと考えました。

私たちはその前日に今の町に引っ越してきて。「台風来てるから早く行きな」とみんなが見送ってくれて、だから強烈にその印象が残っているみたいです。(母)

確か、去年もすごい台風が来た時がありましたよね。雷が鳴っ

て、地震みたいに揺れて。それは怖かったです。雷ってすごいですよね。急に光ると、夜でも昼間みたいに明るくなって。

よく覚えていますね。その雷のことをぜひ来年のコンテストで作品にしてください。さて、このコンテストを通して、永井さんは自分にどんな力がついたと思いますか。

頑張れば、自分でも一人の力で発表ができるんだなと感じました。

そうですね。大事なことは、上手く発表することだけではないですもんね。では最後に、将来やってみたいことなどがあったら教えてください。

自分で何かを作ってみたいので、ホンダに入りたいかな。

それは楽しみですね。ありがとうございます。



▼あとがき▼ハブニングや失敗にも動じることがなく、日頃から「まあいつか」と考えられるポジティブ思考な永井くんの明るい人柄が、見る人を惹きつけるプレゼンにつながっている▼磁石で指を挟んだ時の痛み、友達が台風の被害にあった恐怖心など、自分自身の鮮烈な経験がアイデアや作品作りに生かされている▼兄も最終審査会出場経験者であることから、家族のサポートも得ながら、模型制作からプレゼンまで見通しを持ち取り組んでいる▼磁石を使った仕組みは、過去の学習経験を基にしながらも、繰り返し試してみること、最善を追求する粘り強い姿勢が見られた(FS)

アドバイザーとしてのお母さんから

このコンテストを知ったきっかけは、ホンダの販売店でリーフレットを見つけたことでした。兄も最終審査会まで出場させてもらいましたが、今回も最終審査会まで選ばれるとは思っていませんでした。

当日の搬送方法が電車しかなく、当初予定していた仕組みや材料を変更しなければならないという事態にもなりましたが、そこから困りながらも違うものにするにはどうしたらよいかと試行錯誤し、完成させることができました。

最終審査会当日、発表を見ている時には胃が痛くなる思いでしたが、止まることなく発表を終えることができ、低学年の他の出場者のみんなが笑ってくれ、本人も失敗を気にせずあっけらかんとして楽しんでいました。それで賞をいただいたので、親としても報われた気持ちになりました。

このコンテストに参加してからは、困っている人に自分から声をかけるような姿も見られるようになり、成長を感じました。